

「対立から共生の文化へ」

小松電機産業株式会社・

人間自然科学研究所（小松昭夫代表）が、「対立から共生の文化を拓く」をテーマとした講演と座談会を8日午前9時30分から松江市乃木福富町の同社太陽ホールで開く。同日午後6時からは穴道湖袖師地藏像前で、全国・世界水の偉人覚醒顕彰祭を予定している。

講演・座談会は、日本、韓国、北朝鮮が平和モデル

8日、松江で講演・座談会

を構築するためのきっかけとなる、安重根義士遺墨「独立の書」を管理している龍谷大学から講師を迎える。午後0時30分までの予定。

夕方全国・世界水の偉人覚醒顕彰祭では、嫁ヶ島万灯会の日時に合わせ、袖師地藏前に祭壇を設け、円成寺（松江市栄町）の若槻

小松代表は「これからの地方創生は、その地域にあるもの、ある人で、かつ世

小松電機産業・人間自然科学研究所

必要。一念発
界が必要とし
ていることが
久さんへ。

住職を祭主に護摩祈祷（きとう）を行う。周藤彌兵衛翁など、世界の水の偉人による功績が記された、三つの火の輪を束ねた偉人灯籠170基をともし、地方創生の世界・全国モデルとして、世界縁結び「水と火と健康寿命の聖地」構想の実現を祈願する。

と、きっかけを話している。

問い合わせは、小松電機産業株式会社（電話050・3161・2490）

の上田恵美子さん、小林泰